

# 夏瀬の森 だより

令和七年四月二十五日 第一〇七号  
田殿丹生神社 宮司 嶋田博文

四月十一日  
ふたつのお祭りを執り行いました

## 春祭（祈年祭）

五穀豊穰を願うお祭りで、様々な命が芽吹く春に、この一年無事に農業を営むことができるように氏神様に祈るお祭りで、併せて工業、商業等様々な産業の発展を願います。



## 戦没者慰霊 招魂祭



明治の大東亜戦争から先の大戦まで、命を捧げられた英霊を慰めるため、ついでに、生田殿に、はつと英霊の御霊を招き寄せ、お慰めをいたします。

## 「おさがり」 いただきました

このふたつのお祭りの例年、氏子の皆様から、お供えとして、奉賛のもとに総代さん、敬神婦人会の方々の手



でお餅をお供えさせ、祭典前日、いませ朝より薪で大きな釜に湯を沸かし、何回にも分けて蒸し、小餅から鏡餅まで半日かけて蒸し、お供えした。祭典終了後、境内に餅投げをしました。笑顔の方々に賜っていただきました。



## 有田郡市敬神婦人連合会総会



有田市から広川町までの六社の敬神婦人会からなる連合会、今年度は、開催された。松坂会長はじめ役員の方々が細かなところまで気を配って準備をして、満開の桜の下でお抹茶、和菓子で迎える。正式参拝の後、総会も行い、総会では、古葉書や写真の収集、古葉の整理、古葉の風景写真の紹介、役員の方にもお話しを伺った。



## 田殿丹生神社 敬神婦人会総会

四月十九日には、当社の敬神婦人会の総会を開催し、一年間お世話になった各字の理事さん方にお集まりいただき、松坂幸美さんと会計の尾崎京子さんが退任されました。ご奉仕ありがとうございました。新三役は左記の方々がです。どうぞよろしくお願

- 会長 井口裕子(春)
- 副会長 三木悦子(賢)
- 会計 植田典子(忠)
- 副会長 三木妙子(賢)

# 負けず劣らず 春は楠

落ち葉の季節という晩秋を思われるでしょうが、負けず劣らず四月は楠の落葉がなかなか大変です。境内には楠の巨木が二本あり、毎年その葉が若葉に代わり、毎年その葉が見えなく地面がほのぼの落葉です。吹雪の花びらや、敬神婦人・会の方々は、年中お世話話に、餅つきの後には、総代さんにも清掃奉仕をしていただきます。今年も残念ながらアオサギに営巣されてしまいました。現在は音で脅かすか、対策はないのですが効果は限定的で、参拝者や地域の方々へも迷惑をおかけしていません。妙案があればご教示ください。



# 今年も見事に咲いてくれました



境内にはソメイヨシノ、陽光桜、しだれ桜、ぼたん桜など、色々な桜があり、今年も目と心を楽しませてください。春に桜が咲くと、それは木に神さまが降りてきた知らせとなり、人々は満開の桜の木の根元にお酒や食べ物などお供えし、一年の農耕が上手いくようにとお祈りした神事がお花見の始まりと言われています。

境内の桜には老木が何本もあり、総代さんには枝の整理をしていただき、毒も出揃うと消葉がなくなります。丁寧なお手入れのおかげで毎年花を愛でさせていただきます。けるお蔭で毎年花を愛でさせていただきます。



# 有田支部敬神旅行

二月二十四・二十五日、有田郡市の吉備津神社、崇湯郷温泉等への敬神旅行に行きました。田殿丹生神社からは十二名参加し、神秘的な世界も体験し、他の神社の方々と楽しく親睦を深めることができました。敬神旅行は原則二年に一度企画され、機材もありません。会費はありませんが、お持ちし、お待ちします。



# 提灯の奉納ありがとうございます



を、新年にお申し出いただいた方を、現在約三十名の方に奉納して、夏祭には披露させていただきます。お申し込みは随時、お受けさせていただきます。ご協力をお願いします。



# 本年度の総代会

よろしくお願いたします (敬称略)

- 責任役員 森 勲 (賢) 前田 晃 (井口)  
 総代年番 三木沢己 (大谷) 薮村光博 (出)  
 總 代 的場義行 (田口) 江川正夫 (田角)  
 辻 幸孝 (井口) 河野正行 (賢)  
 嶋田芳文 (船坂) 櫻井重和 (尾中)  
 武田英章 (角) 小林芳孝 (長田)  
 柳川英男 (上巾島)  
 岡崎行男 (竊竈) 岩祖秀幸 (長良)

ホームページ・インスタグラム・フェイスブックでも情報を発信しています。